

ゆーあいの会（友愛訪問活動）

友愛訪問活動とは、地域の方々がボランティアとして、孤立しがちな高齢者をあたたかく見守り支えあうことによって、高齢者と社会とのつながりを保ち、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを目指す活動です。ひよどり台でのこのボランティアグループの集まりを「ゆーあいの会」としています。

ひとりぐらし高齢者の方などに、「声かけ」や「安否確認」を行って、近隣の助け合いの輪が、地域社会に広がっていくことを希望しています。

①日常生活のなかで「普段と少しちがうような----」 **ささやかな気づき**で関係者に連絡福祉サービスの支援につなげられる。

②ボランティアとしての見守りであり、強制せず、されず、「安否確認」と「話し相手」を一番大切に

③出来かねることはお断りして、「**守秘義務**」を守って、高齢者にとって生活しづらくなるような世間話が広がらないように、信頼されるように。

④できれば、健康維持や交通安全、悪徳商法の被害防止など、日常生活のうえで留意すべきことの情報提供を、と心掛けての活動です。

現在ボランティアグループ：11グループ（1グループ 5名乃至6名）

（ボランティアメンバー50名、民生委員児童委員12名）

対象高齢者 50名

* ボランティアメンバーが上記の気持ちを大切に、都合のよいときに訪問、屋外・路上で、また電話などで話しかけ、それぞれに複数または単独で活動しています。

* 年3回ボランティアメンバー、民生委員・児童委員、あんしんすこやかセンター地域支え合い推進員、北区社協担当者が連絡会を開いて、訪問見守り活動の勉強会、民生委員児童委員協議会、見守りについての情報交換や交流を図っている。

* ボランティアの方の協力を得て、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、神戸市が行っている地域福祉活動です。

*お願い

お互いの支え合い「**隣近所のゆるやかな見守り**」を心掛けましょう 「少しの変化でも関係機関にお知らせ・通報を」 **ゆーあいの会にご参加を**

受賞

グループ毎に神戸市長・社協理事長の感謝状を受賞しています。
